

オペラ「人生100年」より二重唱 「満たされた日々」 寸評

- ・ 人生の厚みから生まれたコンセプト
- ・ ソプラノ、バリトンともに歌いやすい音域にまとめてある
- ・ チェロにもゆたかな旋律的うごきがあってよい
- ・ それぞれが歌いかけてのち歌いあうながれが自然
- ・ コンセプト、曲名、外題（げだい）どれも文句なし

完成度をさらに上げるために

- ・ 女声はアルトの方が声域とメロディがぴったりあう
- ・ メロディがややうごきっぱなしなのでたとえばソプラノが全音符で伸ばす等、緩急がつくとなおよい
- ・ m.7, 13-15 歌につけるスラーはある音節をメリスマ歌唱する指示
今回は歌詞がないから不要
- ・ チェロのダイナミックは歌とおなじでよさそう
- ・ m.15 b.4 チェロは属音にして主音へと4度上行すると
終止感がよりはっきりする
- ・ m.11 チェロ四分音符2つを二分休符にまとめよう
- ・ m.14 ソプラノのスラーはタイ2つ目の音符まで伸ばそう

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

たいへんよくできました。

持麿 勉